

広島大学大学院
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

第10回フェニックスリーダー育成プログラムセミナー
を開催しました

フェニックスリーダー育成プログラムでは、平成28年6月24日に、国立病院機構災害医療センター 副災害医療部長／広島大学客員教授の近藤久禎先生をお招きし、「ネパール地震と熊本地震におけるDMATの救援・支援活動について」と題して、第10回フェニックスリーダー育成プログラムセミナーを開催し、学内外から、10名の学生・教職員が参加しました。

セミナーは2部構成で開催され、第1部では、2015年4月に発生したネパール地震の概要とDMAT (Disaster Medicine Assistant Team) の救援活動について学習しました。

また、第2部では、2016年4月14日以降に群発した熊本地震についての概要と救援活動について講演が行われ、一般のニュース報道では知ることのできない災害状況や災害現場におけるニーズや、2011年に発生した東日本大震災と熊本地震における被害状況や被災者のニーズの違いなどについても解説があり、活発な質疑応答も行われました。

最後に、近藤先生から「熊本の復興のためにも熊本を訪れて欲しい。」とコメントがあり、セミナーは大盛況のうちに閉幕となりました。

なお、本セミナーは、プログラムの授業科目等を広島大学内へ公開することにより、本プログラムの取組を広く周知し理解を深めてもらうことを目的として開催しております。



会場の様子